

令和 6 年度 種花事業の取組状況調査結果について
(子どもたちと育てる花と緑によるコミュニティづくり)

1. 種花事業の取組み状況について（予算及び今後の方向性）

○ 実施校（H26～28 の補助事業を活用した種花事業の状況について）

- ・ 4 校

○現在状況・今後の方向性

- | | |
|----------------------------|-----|
| ・ 現状維持 | 2 校 |
| ・ 縮小していく予定 | 0 校 |
| ・ 現在が実施していないが、今後、実施する予定がある | 0 校 |
| ・ 現在は実施しておらず、今後も実施する予定はない | 2 校 |

2. 1 における活動状況（2 校）

1) 作業内容

- | | | | |
|-------------|-----|-------------|-----|
| ・ 一次拠点（種から） | 0 校 | ・ 二次拠点（苗から） | 2 校 |
|-------------|-----|-------------|-----|

2) ボランティアの人数、内容

- | | | | |
|--------------|-----|-------------|-----|
| ・ 1 ～ 5 人 | 2 校 | ・ 6 ～ 10 人 | 0 校 |
| ・ 11 ～ 20 人 | 0 校 | ・ 0 人 | 0 校 |
| ・ 職員が関わっている | 2 校 | ・ 児童が関わっている | 1 校 |
| ・ 保護者が関わっている | 0 校 | | |

3. 1 におけるボランティア育成の取組みと植付場所（2 校）

1) ボランティアの育成

①声掛けの対象は？

- ・ 日程や作業内容についての調整に来られる方、実際に作業される方
- ・ 地域の方

②誰から声掛け？

- ・ 校長、教頭、学校職員
- ・ はぐくみネットコーディネーター

③どんな機会に声掛け？

- ・ 来校時、作業中、終了後、随時

2) ボランティアとのコミュニケーション

①学校の出入りは？

- ・ 校門の鍵を渡している
- ・ 鍵は渡さず、在校時に来校していただいている。

②学校とボランティアとの意見交換の機会？

- ・ ボランティアの方から声をかけていただいている
- ・ ご意見があればその都度聞くようにしている。

③学校からのボランティア間のコミュニケーション機会の提供は？

- ・ 特になし

④ボランティアと児童・保護者との活動の機会は

- ・ 設けている 1 校
- ・ 設けていない 1 校

⑤ボランティアの講習会等の学校施設の提供は？

- ・ 提供していない 2 校

○花苗の植付場所

(単位：ヶ所)

	小学校	公園	児童 遊園	道路	幼稚園 保育所	中学校	社会福祉 施設 (※1)	その他 公共施設 (※2)
令和6年度 (実績)	2	0	0	0	0	0	0	0

※1 老人福祉センター、老人憩の家等

※2 区役所、消防署、警察署、病院、下水道施設他

4. その他1

1) 公園事務所や区役所との連携

①公園事務所や区役所との連携

- ・ 公園事務所と連携 0 校
- ・ 区役所、教育支援担当と連携 0 校
- ・ なし 4 校

②技術支援の希望は？

- ・ 希望なし 4 校

2) 学校として工夫していること

- ・ 地域活動協議会（はぐくみネットも含む）と連携したり、学校が支援を受けたりする機会が比較的多い地域で、その一環として「種花」について考えている。
- ・ 学校ホームページに掲載することで、保護者や地域に発信している。
- ・ 学校玄関前にプランターを設置することで、地域に発信している。

5. その他2

1) 独自の取組み

- ・ 児童による飼育・栽培委員会
- ・ 寄贈されたチューリップを利用した緑化活動（低学年）
- ・ グリーンカーテン

2) 実施上の課題

- ・ 特になし

3) 長期休業中の水やり等の維持管理

- ・ 必要な場合は地域ボランティアの方がしてくださっている。学校の植物の水やりについても状況によっては依頼する場合がある。
- ・ 日番の教員を中心に行っている。

- ・タイマー付きスプリンクラーを設置しているが、水が届かないところは管理作業員や日直の教員が日々、水やりをしている。
- ・日番の管理作業員が行っている。

4) 学校と地域での協働による、野菜などの実のなる物の栽培について興味があるか

- ・児童数が急激に増加している中で、育てるスペースの確保や地域との調整などが難しく、実施にはハードルが高い。